

TAZMO®

第51期 年次報告書 2022年1月1日~2022年12月31日

Technology for People's Future

パワー半導体設備投資は引続き好調 中国へ子会社設立



代表取締役社長 佐藤 泰之

▶ 更なる『挑戦』で事業拡大へ

2023年3月28日付で社長を交代し、代表取締役会長に就任いたしました池田俊夫でございます。当社は2022年に創立50周年を迎え、次の50年へのスタートの年を切りました。これまでには大変厳しい時期もありましたが、2022年度も過去最高の売上・利益を計上することができました。これも株主の皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。これから、経営陣の若返りを図り、更なる業績拡大に挑戦し続ける企業を目指してまいります。

これからも株主の皆さまのご期待に添えますようグループ全社結束して社業に精励してまいりますので、より一層のご支援ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

- ・顧客ニーズの把握と求められる製品の開発
- ・継続した原価低減による利益率の向上

▶ 業績及び事業報告

2022年の世界経済は、欧米などで緩やかな回復がみられるものの、新型コロナウイルス感染症の長期化やウクライナ情勢の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが属する半導体業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大でのリモートワーク等のIT関連の販売増加による世界的な半導体不足の影響で、半導体メーカーの設備投資は堅調に推移いたしました。その結果、当社の主力セグメントでありますプロセス機器事業におきましては増収となりました。

金型・樹脂成形事業におきましては、材料費の高騰によるコスト増加の影響などにより、減収となりました。

表面処理用機器事業におきましては、車載用を中心とするプリント基板メーカーの設備投資が比較的堅調であったことから、増収となりました。以上のことから2022年度の連結売上高は増収となりました。

利益面におきましては、利益率の高い半導体製造装置の売上が順調に進んだことや、搬送ロボットなどの量産効果等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも増益となりました。

▶ 今年度の見通し

2023年度は、ウクライナ情勢の長期化など懸念はありますが、海外への渡航制限や入国後の待機期間の解除など、通常の営業活動が再開できる状態となりました。半導体業界におきましては、パワー半導体メーカーの設備投資は堅調であり、引合状況は引続き高水準で推移しております。また、プリント基板メーカーの設備投資も回復してきており、今後も受注が増えてくるものと予想しております。

2022年度末の受注残高も380億円を超える過去最高水準となっており、受注済みの案件を確実にこなし、少しでも利益を伸ばせるよう工程管理の強化や原価低減を進めるとともに、半導体メーカーやプリント基板メーカーの積極的な設備投資を確実に受注につ

なげ売上・利益を伸ばしてまいります。

また、2022年7月に中国浙江省紹興市に子会社を設立いたしました。この子会社を早期に立上げ、業績を伸ばしていけるよう努めてまいります。

▶ 株主の皆さまへ

この度、代表取締役社長に就任いたしました、佐藤泰之でございます。株主の皆さまにおかれましては、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここ数年の半導体業界の好調により、2022年度も過去最高の売上・利益を計上することができました。パワー半導体向けの貼合／剥離装置の開発に長年携わってまいりましたが、現在は主力製品となり、当社の売上・利益を大きく伸ばすことができるようになりました。しかし、更なる業績拡大のためには新たな製品の開発が必須であり、早期に市場へ投入できるよう注力しております。また、人材育成や業務の効率化など課題は山積みではありますが、ひとつひとつを確実に解決し、世界で戦える企業へ成長するために努力を惜しまず邁進してまいります。

今後とも、株主の皆さまのより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業の概況

2022年度 連結業績

当連結会計年度における経営環境は、欧米などで緩やかな回復がみられるものの、新型コロナウイルス感染症の長期化やウクライナ情勢の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大でのリモートワーク等のIT関連の販売増加による世界的な半導体不足の影響で、半導体メーカーの設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は243億56百万円（前期比10.7%増）の増収となりました。利益面では、利益率の高い装置が売上計上されたことや、原価低減活動の効果により、営業利益28億6百万円（前期比34.1%増）、経常利益31億38百万円（前期比41.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益22億63百万円（前期比29.4%増）となりました。

2022年度 連結業績

	2022年度 当連結会計年度 自 2022年 1月 1日 至 2022年12月31日	ご参考	
		前連結会計年度 自 2021年 1月 1日 至 2021年12月31日	対前期 増減率
売上高	24,356 百万円	22,001 百万円	10.7%増
営業利益	2,806 百万円	2,092 百万円	34.1%増
経常利益	3,138 百万円	2,218 百万円	41.5%増
親会社株主に帰属する当期純利益	2,263 百万円	1,749 百万円	29.4%増

セグメント別概況

プロセス機器事業

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、パワー半導体向け半導体装置の需要が伸びたことにより、売上高は59億97百万円（前期比30.3%増）となりました。

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、顧客である半導体装置メーカーからの受注が好調であり、売上高は71億36百万円（前期比29.1%増）となりました。

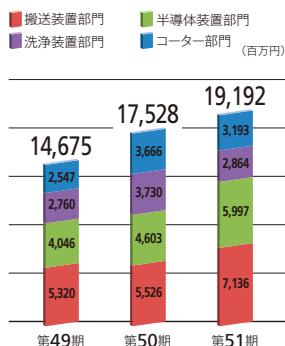
洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、装置の検収が遅れた影響があり、売上高は28億64百万円（前期比23.2%減）となりました。

コーター部門

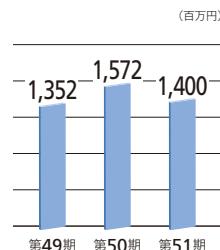
コーター部門につきましては、フラットパネルディスプレイ関連のメーカーによる設備投資が鈍化していることから、売上高は31億93百万円（前期比12.9%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は191億92百万円（前期比9.5%増）、営業利益26億35百万円（前期比32.3%増）となりました。



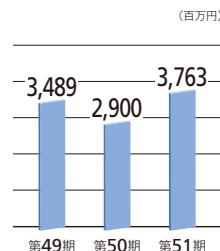
金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、材料費の高騰によるコスト増加の影響などにより、売上高は14億00百万円（前期比11.0%減）、営業利益11百万円（前期比86.8%減）となりました。



表面処理用機器事業

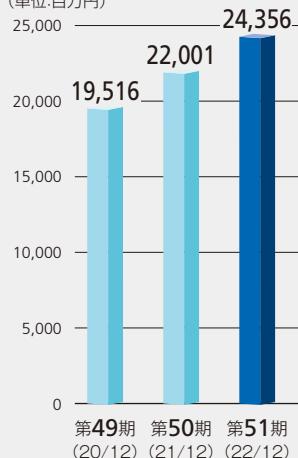
表面処理用機器事業につきましては、車載用を中心とするプリント基板メーカーの設備投資が比較的堅調であることから、売上高は37億63百万円（前期比29.7%増）、営業利益1億75百万円（前期比1,191.6%増）となりました。受注においては、プリント基板メーカーの設備投資は回復傾向であり、後半にかけて大幅に増加いたしました。



財務ハイライト(連結)

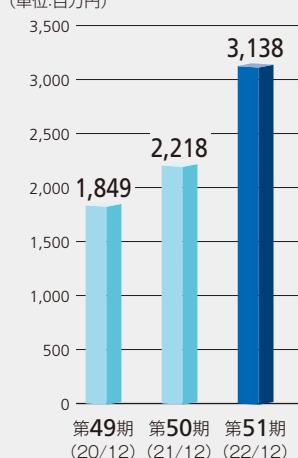
売上高

(単位:百万円)



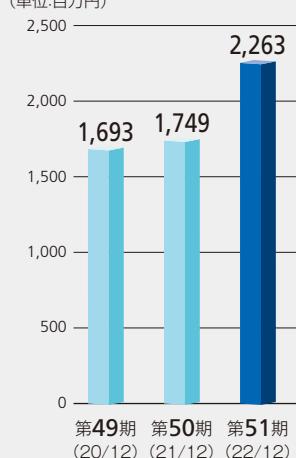
経常利益

(単位:百万円)



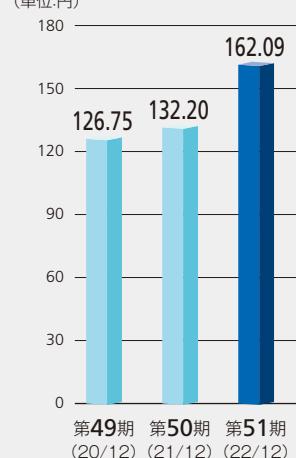
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



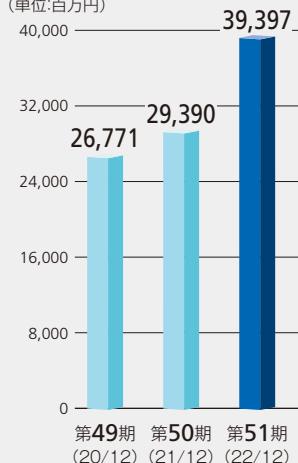
1株当たり当期純利益

(単位:円)



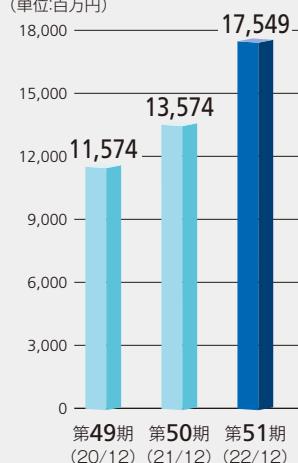
総資産

(単位:百万円)



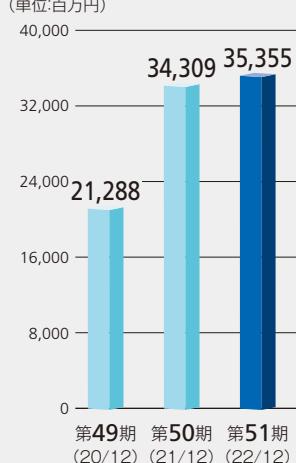
純資産

(単位:百万円)



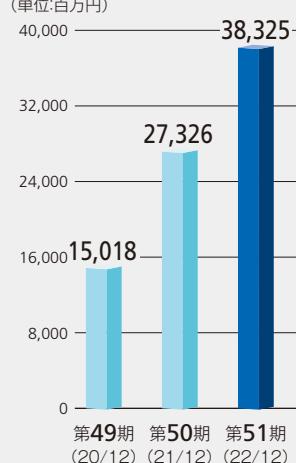
受注高

(単位:百万円)



受注残高

(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計 年度末 (2021年12月31日)	当連結会計 年度末 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産	22,075	31,905
固定資産	7,314	7,491
資産合計	29,390	39,397
負債の部		
流動負債	13,457	18,463
固定負債	2,357	3,384
負債合計	15,815	21,847
純資産の部		
株主資本	13,041	16,643
資本金	2,724	3,495
資本剰余金	2,659	3,430
利益剰余金	8,104	10,151
自己株式	△ 446	△ 434
その他の包括利益累計額	318	642
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	318	641
非支配株主持分	214	263
純資産合計	13,574	17,549
負債及び純資産合計	29,390	39,397

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自2021年 1月 1日 至2021年12月31日)	当連結会計年度 (自2022年 1月 1日 至2022年12月31日)
売上高	22,001	24,356
売上原価	16,068	17,028
売上総利益	5,933	7,328
販売費及び一般管理費	3,841	4,521
営業利益	2,092	2,806
営業外収益	165	387
営業外費用	39	54
経常利益	2,218	3,138
特別利益	—	64
税金等調整前当期純利益	2,218	3,203
法人税、住民税及び事業税	357	643
法人税等調整額	75	263
当期純利益	1,785	2,296
非支配株主に帰属する当期純利益	35	33
親会社株主に帰属する当期純利益	1,749	2,263

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

▶ 会社概要 (2022年12月31日現在)

商号 タツモ株式会社
 本社所在地 〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地
 設立 1972年2月
 資本金 3,495,400千円
 事業内容 半導体製造装置、搬送ロボット、液晶製造装置、プリント基板めっき装置、精密金型及び樹脂成形品などの開発・製造・販売
 従業員数 364名(連結1,105名)
 営業所・工場及び支店 第1工場・第3工場・第5工場／東京営業所
 子会社 プレテック株式会社
 TAZMO INC.
 上海龍雲精密機械有限公司
 TAZMO VIETNAM CO.,LTD.
 龍雲亞普恩科技股份有限公司
 龍雲阿普理夏電子科技(上海)有限公司
 株式会社ファンリテイ
 富萊得(香港)有限公司
 富萊得科技(東莞)有限公司
 FACILITY HANOI CO.,LTD.
 株式会社クオークテクノロジー
 龍雲(紹興)半導体設備科技有限公司

主要取引銀行 株式会社中国銀行
 株式会社みずほ銀行
 株式会社三菱UFJ銀行
 株式会社商工組合中央金庫

▶ 株式の状況 (2022年12月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数…………… 40,800,000株
 発行済株式の総数…………… 14,813,300株
 株主数…………… 4,589名

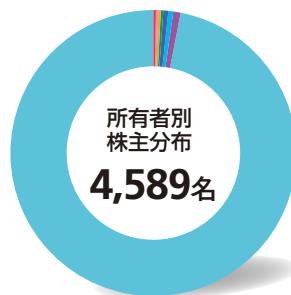
大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	2,235,000 株	15.09 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,901,300	12.83
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,103,600	7.45
弘塑科技股份有限公司	700,000	4.72
HSBC BANK PLC A/C M AND G (ACS)	524,600	3.54
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	435,900	2.94
野村信託銀行株式会社(投信口)	395,400	2.67
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS, UNITED KINGDOM	335,400	2.26
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	315,000	2.12
中銀リース株式会社	304,500	2.05

(注) 1. 持株比率は自己株式数(1,782株)を控除して算出しております。
 2. 自己株式には役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の導入に際して設定した、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式262,500株を含んでおりませんが、連結財務諸表においては自己株式として処理しております。

▶ 取締役 (2023年3月28日現在)

代表取締役会長	池田俊夫
代表取締役社長	佐藤泰之
常務取締役	曾根康博
取締役	多賀義明
取締役	吉國久雄
社外取締役 (監査等委員会委員長)	岡友和
社外取締役 (監査等委員)	藤原準三
社外取締役 (監査等委員)	石井克典



※自己株式は個人・その他に含めて記載しております。

※自己株式1,782株は10単元以上に含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地

▶ 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(〒541-8502)
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

●お問い合わせ先

0120-094-777(フリーダイヤル)

●各種お手続き用紙のご請求

株主関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufug.jp/daikou/>

公 告 の 方 法 電子公告

公告掲載URL <https://www.tazmo.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

[手続き書類のご請求方法]

■ インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufug.jp/daikou/>

ホームページのご案内

当社のホームページでは最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下記のアドレスよりご覧ください。



<https://tazmo.co.jp/>